

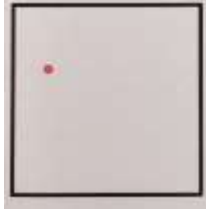


大項目	書くこと
小項目	ひらがなの書き（文字の構成）
タイトル （教材名）	定位法でのひらがな練習
目的 身につけてほしい力	なぞり書きができた上で、一人で書ける文字を増やしていく。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>①  ②  ③ </p> <p>・①のような白抜き文字を用意する（児童生徒の実態に合わせた大きさ）。色分けして始点（赤色）と終点（青色）を定位し、それを見て線をつないで書けるようにする。②・③のように、文字の枠がないものや徐々に定位する点を減らしたものも作成する。</p> <p>・「し、つ、い、こ」等、画数が少なくて線の交差がないものから始めると、取り組みやすい。また、意欲を高めるために本人の名前等の親しみやすい文字から始めるのも良い。</p>
教材の使用方法	<p>・プリントとして用意し、定位した点を見ながら文字を書くように促す。</p> <p>・終点の定位をしない、書き順の終わりの方から始点も定位しない等、徐々にヒントの点を減らしていく。</p>
その他	<p>・この方法で書けるようになったら、次は隣に書いた文字を書き写す模写へと移行していく。</p> <p>・タイミング良く言葉かけをすることも、必要な支援になる。</p>